

14-182

ブ レ ー カ

証明書
発行日 26 年 6 月 13 日 様式SR-EB-01-B

証明書
発行No. 6-14 標章No. 0950274

3 年 間 保 存

特定自主検査記録表

- ① プレーカ本体を装着する機体及びブーム等の作業機部分に関する検査記録については、様式SR-EHC-01及び02(油圧ショベル)等を使用すること。
② 区分又は検査箇所「油圧式」又は「空圧式」と区別のないものは、油圧式プレーカと空圧式プレーカで共通の部分である。

メーカー名	プレーカ本体 古河	管理番号	YD-009	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社	
型 式	プレーカ本体 HB8G	製造番号	プレーカ本体 4783	機械管理者氏名	町田 宗才	
性 能	プレーカ本体 430 kg	装着機械	308D	検査業者登録No.	第 1 7 号	
検査場所	町田機工(株)ハ重山(営)			検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) アキハ	
検査年月日	H26 年 6 月 13 日	検査者 氏 名	知念 寛之	責任者		

区分	No.	検査箇所	検 査 内 容	検査方法	検査結果 良 不良	補 修 内 容	区分	No.	検査箇所	検 査 内 容	検査方法	検査結果 良 不良	補 修 内 容
ブ レ ー カ 本 体	油 圧 式	1 プレーカ 上 部	封入ガス圧力、ガス漏れ	圧力計 目視	✓		油 圧 式 装 置	17	フィルター エレメント、 ケ ー ス	汚れ、目詰まり、損傷、油漏れ	目 視	—	—
		2 シリンダー	油漏れ、ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩擦	目 視	✓			18	高圧配管	支持状態、つぶれ、継手部油漏れ	目 視	—	—
		3 プレーカ 下 部	き裂、損傷、摩耗、チゼルしゅう 動部ブッシュ・摩耗・油漏れ・給脂	目 視 スケール	✓			19	油圧ホース	き裂、損傷、老化、ひび割れ、 ねじれ、油漏れ、変形	目 視	✓	
		4 アキュム レーター	打撃の異常（ホース振れ、むら 打ち、異音）、接続部油漏れ	目 視 聴 診	✓			20	リリース バルブ	作動、油漏れ	目 視 操 作	—	—
	空 圧 式	5 プレーカ 上 部	接続部緩み	目 視 テストハンマー	—	—		21	操 作 弁	作動、油漏れ、取付け	目 視 操 作	—	—
		6 シリンダー	ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩擦	目 視	—	—		22	減 圧 弁	作動、油漏れ、取付け	目 視 操 作	—	—
		7 プレーカ 下 部	き裂、損傷、摩耗、チゼルしゅう 動部ブッシュ・摩耗・給脂	目 視	—	—		23	アキュム レーター	打撃の異常（ホース振れ、むら 打ち、異音）、*ガス封入圧	目 視 聴 診 圧力計	—	—
		8 チ ゼ ル 保持ピン	き裂、変形、摩耗	目 視 ノギス	✓			24	エアホース	損傷、ひび割れ、老化、継手部 緩み、エア漏れ、クランプ状態	目 視 聴 診	—	—
	共 通	9 チゼル保持ピン用 抜止めピン	き裂、変形、摩耗	目 視 ノギス	✓			25	操 作 弁	作動	操 作	—	—
		10 ボルト、ナット	取付	目 視 テストハンマー	✓			26	ラ イ ン オイラー	油量・汚れ	目 視	—	—
		11 チ ゼ ル	き裂、変形、摩耗	目 視	✓			27					
		12						28	操作レバー、 ペダル	ストローク、かた	目 視 操 作	✓	
ブ ラ ケ ッ ト	13	ブラケット	き裂、摩耗、変形、損傷	目 視 ノギス	✓		操 作 部 の 総 合	29	総合テスト	作動、異常、異常振動、異常発熱	操 作 聴 診 触 診	✓	
	14	取付けピン	き裂、変形、摩耗、給脂	目 視	✓								
	15	ボルト、ナット	取付	目 視 テストハンマー	✓								
	16	緩衝材 (油圧式)	き裂、摩耗、劣化	目 視	✓								

事業 要 請 者 等	次回特定自主検査実施年月	H27 年 6 月
	異常ありとせん、定期的に清掃を行って下さい	

補 修 等 の 措 置 内 容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補 修 実 施 内 容
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。		
記 号	交換	修理	調整
	X	△	A
			T
			C
			L
			—

油圧ショベル(クローラ式)

特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用証明書
発行日

26 年 6 月 6 日

様式SR-EHC-01-B

証明書
発行No.

6-14

標章No.

0950274

メーカー名	CAT	管理番号	K4-182	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社		
型 式	308DCR-2	性 能	0.25m ³	機械管理者氏名	町田 宗 才		
製造番号	VHSA 00912	アワメーター	2/59 h	検査業者登録番号	第 1 7 号		
検査実施場所	町田機工(株)八重山(営)			検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) ア吉小五		
検査年月日	H26 年 6 月 6 日	検査者 氏 名	知念 寛之	責任者			

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果		補修 内容	
					良	不良		
エ ン ジ ン	1	本 体	★ a 始動性 かかり具合、異音、予熱機・ヒーターの作動 ★ b 回転の状態 アクセル作動、回転具合 アイドリング回転(900 min ⁻¹)、無負荷最高回転(1980 min ⁻¹) ★ c 排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ ★ d エアクリナー ケースのき裂・変形・破損、エレメントの汚れ・損傷、油量 ★ e 締付け シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み ★ f 弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) ★ g 圧縮圧力 圧縮圧力(MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ h 噴射圧力 噴射圧力(MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ i 噴霧状態 噴霧状態 良○・不× 1 2 3 4 5 6 ★ j 過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ ★ k エンジンマウント ブラケットのき裂・変形・破損、脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、操作、聴診	✓			
		*ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。						
		*弁すき間の異常による異音がなく、検査項目No.a,b,cに異常がない場合は、この検査を省略してもよい。						
	2	潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ・損傷	目視	✓			
	3	燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老朽、エレメントの汚れ・目詰まり	目視	✓			
	4	冷却装置	水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老朽、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等のき裂・損傷・変形・取付	目視、触診、スケール	✓			
	5	電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電流電圧計	✓			
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	—	—	—	
	7							
	走 行 装 置	8	起動輪、遊動輪	き裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓		
		9	上部ローラー、下部ローラー	き裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	スケール、パス	✓		
		10	履 帯	チェーンのき裂・変形・摩耗、ボルト・ナット取付、リンク・ピン・ブッシュのき裂・摩耗、ピン長、たわみ、ピン抜け、ゴムパッド(欠け・老朽・摩耗)	目視、スケール、探傷器	✓		
		11	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老朽・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	—	—	—
12		履帯調整装置	作動、調整ボルト等のき裂・変形・腐食・摩耗、シリンダー油漏れ	目視、操作、探傷器	✓			
13		走行減速機	異音、異常発熱、ケースのき裂・損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	✓			
14								
制 動	15	駐車ブレーキ	効果	目視、操作	✓			
	16							
作 業 装 置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	き裂、変形、摩耗、かた、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	✓			
	18	ツース	脱落、かた、摩耗	目視、触診	✓			
	19	ブレード	き裂、変形、摩耗、かた、取付	目視、操作、探傷器	✓			
	20	フック	変形、摩耗、取付(き裂)、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ノギス	✓			
	21							
油 圧 装 置	22	作動油タンク	油量、汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブリーザー目詰まり、取付	目視、石けん水	✓			
	23	フィルター	汚れ、目詰まり、油漏れ	目視	✓			
	24	配管、ホース、高圧パイプ	き裂、損傷、老朽、ひび割れ、油漏れ、取付		✓			
	25	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量、吐出圧	目視、聴診、触診、	✓			
	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	旋 回 用 走 行 用 目視、聴診、触診、 テスト	✓			
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打ん、き裂、曲り、擦り傷	ブーム用 アーム用 バケット用 ブレード用 スイング用 目視、操作、スケール、 タイマー	✓			

3 年 間 保 存

K4-182

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容						
油 圧 装 置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓							
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音	目視、操作、聴診、触診	✓							
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ	目視、聴診、触診	✓							
	31		電動式 (モーターの異常振動、異音、異常発熱)		—	—						
操 作	32	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓							
	33											
安 全 装 置 ・ 車 体 関 係 等	34	下部架台フレーム、ブラケット	き裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓							
	35	旋回フレーム、ブラケット	き裂、変形、取付	目視	✓							
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤき裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓							
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓							
	38	旋回ロック	効き、き裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老朽	目視、操作	✓							
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓							
	40	キャブ、カバー	き裂、変形、腐蝕、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスのがた・破損	目視、操作	✓							
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓							
	42	座席 (調整機構、シート、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付、シートベルト、損傷	目視、操作	✓							
	43	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視	✓							
	44	表示板	損傷、取付	目視	✓							
	45	燈火装置、警告器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ破損、濁水	目視、操作	✓							
	46	計器類	作動	目視	✓							
	47	後写鏡、反射鏡	汚れ、損傷、写影	目視	✓							
	48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓							
	49											
総 合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓							
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンジ等	✓							
事業要請等	次回特定自主検査実施年月 H27 年 6 月											
	定期的に点検を行って下さい											
補 修 等 の 措 置 内 容												
照会No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容								
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。				記 号	交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水	該 当 な し
						X	△	A	T	C	L	—